

登録コード	A3593340		開講年度	2026			
授業科目	専攻演習					担当教員	大迫 祐太郎
英文授業名	Selected Seminar						瀧渦 康範・松浦 朝奈
単位数	1	講義期間	前期(前半)	曜日・時限	月曜・2時限		対象学生
講義室	農学部 2 4 番講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					専門的な知識や研究能力を修得している	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している	
	2 0 2 6 A3 編 (24A), 2 0 2 5 A3 編 (23A), 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	植物資源科学コースの教員によるリレー式の演習です。 専攻研究の基礎となる専門的な内容を織り込みながら演習を進めます。						
(5)授業計画	第 1 週 ガイダンス（3年担任、教務委員、コース長）、果樹園芸学（大迫）：4月13日 第 2 週 微生物植物相互作用学（入枝）、植物病理学（加藤）：4月20日 第 3 週 青果物機能学（瀧渦）、作物学（松浦）：4月27日 第 4 週 雑草学（渡邊）、作物生産システム学（叶）：5月1日 第 5 週 植物遺伝育種学（松島）、植物遺伝育種学（根本）：5月11日 第 6 週 土壌生物学（齋藤）、栽培土壌学（鈴木）：5月18日 第 7 週 フィールドデータサイエンス（近藤）、蔬菜園芸学（阿久津）：5月25日 第 8 週 農業経済学（若林）、分属説明（教務委員、3年担任、コース長）：6月1日 各担当の日程は変更する可能性があります。最終週の最後の15分間は授業アンケートへの回答時間に充てます。						
(6)自主学習の指針	植物資源科学コース担当教員の専門分野について著作物やホームページなどで事前に調べてください。						
(7)成績評価の基準	期末のレポートで評価します。 レポートは、(i)テーマが明確であり、(ii)テーマについて基本的な説明ができており、(iii)テーマに対する課題等を適切に指摘しており、(iv)それらの課題に対して既知の知見による解決法が述べられ、(v)その上で自分の見解を提示し、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から (v) の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」、3項目までできていれば「水準にある」。 成績を100点満点に換算し、90点以上を「秀」、80-89点を「優」、70-79点を「良」、60-69点を「可」、59点以下を「不可」とします。						
(8)事前事後学習の内容	植物資源科学コース担当教員の専門分野について著作物やホームページなどで事前に調べてください。 授業後は配布資料をもとに関連事項について復習や自主学習して、植物資源科学コースではどのような研究が行われているのかについての知識・理解を深めてください。						
(9)テストやレポートの予定	期末にレポートを実施します。 レポートのテーマについては初回ガイダンス時に示します。						
(10)成績評価の方法	期末のレポートで評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	授業時間内あるいはメール（令和8年度：yosako@shinshu-u.ac.jp）で対応します。						
(12)履修上の注意	植物資源科学コースでは専攻演習を3年前期の前半に開講します。 この演習の受講は研究室分属のための要件にはなっていませんが、分属に関する詳細な説明が行われ ます。分属後の専攻研究の参考となりますので、なるべく受講してください。						
【教科書】	教科書は特に指定しません。講義で資料を随時配布します。						
【参考書】	特に指定しませんが、授業の中で紹介された書籍・論文等を参考にして下さい。						